

年 報

平成17年度

宮 城 県 図 書 館

目 次

平成17年度の概況	1
1 平成17年度宮城県図書館基本方針・目標	2
2 事業予算	4
3 職員組織及び事務分掌	5
4 宮城県図書館協議会	8
5 実施事業の概要	9
6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業 －事業の概要と平成17年度の実績－	15
7 平成17年度図書館資料利用状況等（統計）	19
8 主催事業の概要	30
9 広報活動並びに刊行物	37
10 平成17年度の主なできごと	3

平成 17 年度の概況

平成 16 年度から本格的に開始いたしました「22 世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」は、平成 17 年度も前年度に引き続き「貴重資料の修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト事業」の二つの事業で展開いたしました。

「貴重資料の修復保存事業」においては、①貴重資料の専門調査、②資料評価を基にした文化財指定、③傷みの激しい貴重資料の修復、④デジタル化やレプリカ作成等を行いました。この結果、国・県を併せた文化財（登録文化財を含む）の指定件数は 29 件 7,750 点となりました。また、デジタル化した映像はインターネットで公開を開始し、作成した『魚蟲譜』、『仙台領国絵図』等のレプリカは展示会等を開催し公開いたしました。

「次世代育成プロジェクト事業」では、学校を中心とした活動として、①『源氏物語』や『徒然草』等の古典文学複製本、②夏目漱石『吾輩は猫である』や芥川龍之介『羅生門』等の近代文学複製本の高校への貸出し、③子どもの本の小学校への移動展示会等を行いました。図書館を訪れる一般県民を対象としては、④貴重資料を中心とした特別展や⑤職員の発案による企画展のほか職員グループによる自主企画「プロジェクト 22」（「アニメーション」「利用者端末の検索方法案内」「図書館ツアー」等）を実施しました。このほか、⑥図書館関係者に対する閉架書庫の見学案内、⑦「古地図」等文化財レプリカの学校・公共図書館等への貸出しを行うほか、⑧学校図書館等図書館関係職員から寄稿をいただき、図書館紀要『叡智の杜』を発行しました。

これら「22 世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」のこれまでの成果を総合的に紹介する移動展示会を 3 月 13・14 日の 2 日間にわたり宮城県庁講堂で実施しました。

図書館サービスでは、年間の個人貸出冊数は 997,239 冊で、前年度より 42,171 冊の減少となりました。一方、協力車運行等による市町村図書館等への協力貸出資料は、22,383 冊となり、前年度に比べて 527 冊増加となりました。

宮城県図書館協議会は 3 回開催され、宮城県図書館が取り組む「22 世紀を牽引する叡智の杜づくり」や、図書館を取り巻く諸課題等について協議されました。

生涯学習推進事業では、生涯学習室における各種相談や社会教育主事専門研修の開催のほか、10 月には生涯学習推進月間事業として集中的に特別講座を開催しました。

平成 17 年 4 月 1 日（石巻市、登米市、栗原市、東松島市）、10 月 1 日（南三陸町）、平成 18 年 1 月 1 日（美里町）、3 月 31 日（大崎市、気仙沼市）に市町村合併が行われ、県内市町村数は 13 市 22 町 1 村の計 36 市町村となりました。これら合併が行われた市町村図書館へ情報提供を行うとともに、個別相談に対してはその都度職員を派遣するなど対応いたしました。また、公民館図書室で事業活動を行っている町村に対しては公共図書館設置に関する情報提供を行いました。このほか、新たに県内公共図書館の館長研修会を実施するほか、市町村図書館・公民館図書室職員を対象とする研修を行いました。

1 平成17年度 宮城県図書館基本方針・目標

基本方針

県図書館に収蔵される先人の叡智の集積を活用し、未来へ伝えることを通して、宮城の輝かしい発展、活力ある日本の再生に貢献する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を積極的に進める。

目標

- 1 県図書館の過去700年にわたる「叡智」の集積を最大限に生かし、次代を担う人々に拠って立つ故郷の薫り高い歴史や文化を伝えると共に、全国に発信するための環境整備を行う。
- 2 生涯学習の拠点・地域の資料保存センターとして必要な資料の収集・保存，継承に努めると共に各種サービスの向上を図る。
- 3 全ての県民が図書館サービスを楽しむことができるように，市町村へ積極的に支援する。
- 4 高度情報社会に対応したサービスの向上を図るため，コンピュータやネットワーク技術を積極的に活用し，図書館サービス網の整備を促進すると共に情報機器を使いこなす能力向上に努める。
- 5 県民の学習・調査研究・企業のビジネス活動・子ども読書活動の推進に努める。
- 6 時代の変化や県民の学習ニーズに対応した生涯学習事業の推進に努める。
- 7 生涯学習・情報発信の中核施設として施設の整備，人材育成等に努める。

施策と事業

- 1 22世紀を牽引する叡智の杜づくり
 - (1) 古絵図・古地図・貴重図書の修復・保存
 - (2) 国・県指定文化財のデジタル化及びレプリカ作成
 - (3) 国・県指定文化財のインターネット公開
 - (4) 宮城県図書館貴重資料の宮城県文化財指定に向けての環境整備
 - (5) 次世代を担う人材育成のために，貴重資料，古典，名作等の複製資料の高等学校等での移動展示
- 2 図書館資料等の整備充実・利活用
 - (1) 図書館資料の広範な収集及び整備保存の充実
 - (2) 図書館サービスの充実
- 3 調査研究と相談機能の充実及び生涯学習機会の提供
 - (1) レファレンスサービスの充実
 - (2) レファレンス事例集等の作成配布
 - (3) インターネット等による調査研究機能の整備
 - (4) 図書館ボランティア活動の支援
 - (5) 各種講習会，上映会，子どもの本展示会，おはなし会・紙芝居上演会等の開催
 - (6) みやぎ子ども読書活動推進計画に基づく学校支援，総合的な学習への支援

4 市町村図書館等への活動支援と職員研修の充実

- (1) 図書館協力車運営事業の推進と公共図書館連絡会議の開催
- (2) 図書館の整備・運営に関する助言
- (3) 公共図書館等職員研修会等の開催
- (4) 図書館間の相互協力体制の強化と充実
- (5) 宮城県図書館協会、北日本図書館連盟等との連携、協力

5 宮城県図書館情報ネットワークシステムの整備・充実

- (1) 図書館情報ネットワークシステムの拡充
- (2) インターネットでの蔵書検索サービス等の提供、ホームページの公開、インターネット端末の館内利用

6 生涯学習事業の推進

- (1) 生涯学習相談事業の実施

7 管理・運営体制の充実

- (1) 施設設備の整備
- (2) 各種媒体を活用した広報活動の充実
- (3) 司書等専門職員の養成と確保
- (4) 宮城県図書館協議会の開催

2 事業予算

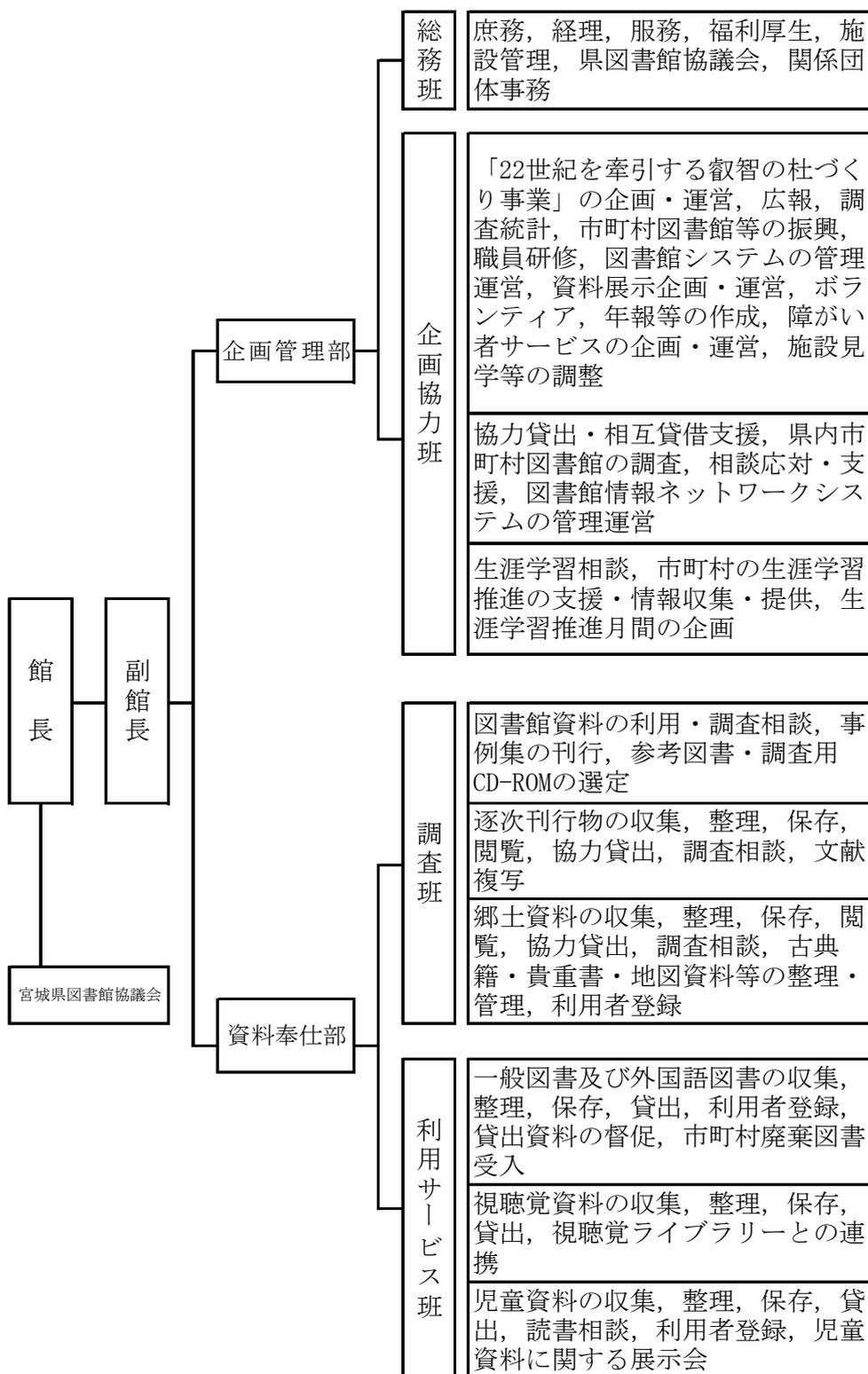
(単位：千円)

区 分	当初予算額	概 要
管 理 経 費	274,671	本館の運営維持費（定員内職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	451	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	26,081	機器使用料，消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	69,104	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	1,531	主催事業，広報等に要する経費
資 料 購 入 費	83,240	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	34,880	本館所蔵貴重資料の修復，写真撮影，デジタル化及びレプリカ制作等に要する経費
合 計	489,958	

3 職員組織及び事務分掌

(1) 組織及び事務分掌

(平成17年4月1日)



(2) 職員

(平成17年6月1日)

館長 伊達 宗弘
副館長 堀村 廣雄

○企画管理部

部長 飯川 皓
次長(総括担当兼総務班長) 長尾 徳治
主任主査 齋藤 昭彦
主任主査 菊地 喜和子
主任主査 高橋 淳子
主事 志賀 秀明
主任主査(企画協力班長) 内馬場みち子
主任主査 佐々木 克敬
主査 後藤 靖彦
主査 倉田 信広
主事 堀江 聡
主事 田村 さおり
主事 佐尾 博基
主事 太田 美喜

○資料奉仕部

部長 早坂 信子
次長(総括担当) 菅原 泰博
主幹(調査班長) 安川 潔
主任主査 佐藤 睦美
主任主査 長谷川 芳江
主査 田中 則行
主査 浅野 温子
主事 今村 幹子
主事 嵯峨 進
主事 渡邊 弓子
主事 管野 裕美子
主事 熊谷 慎一郎
主幹(利用サービス班長) 佐々木 元廣
主幹 大和田 順子
主幹 千葉 哲
主任主査 長谷川 修一
主査 武石 直子
主事 梶本 哲弥
主事 小杉 景子
主事 沼倉 真妃恵
主事 小野寺 裕子
主事 田代 恭子
主事 柴田 香織
主事 岡本 真澄

(3) 職員数

() : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主幹	主任 主査	主査	主事	計	嘱託	相談員	臨時職員	計
人数	1 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	8 (3)	5 (3)	17 (10)	40 (20)	19 (18)	2	26 (3)	47 (21)

(4) 非常勤嘱託職員

(21人)

生涯学習相談員	高橋 英子	郷土資料	芦久保 恵美	一般図書	西巻 依子
生涯学習相談員	鈴木 理佳子	郷土資料	齋藤 絵里子	視聴覚資料	鈴木 明美
企画協力	植松 由起子	一般図書	石幡 直子	視聴覚資料	伊豆田 彩
調査相談	小野 紀	一般図書	河端 ふみえ	視聴覚資料	高橋 静子
逐次刊行物	齋藤 仁美	一般図書	関 程子	児童資料	嵯峨 晶子
逐次刊行物	安田 和加	一般図書	引地 聖美	児童資料	伊庭 のぞみ
郷土資料	澁谷 歩	一般図書	安彦 大輔	児童資料	大西 敦子

4 宮城県図書館協議会

(1) 第27次宮城県図書館協議会委員名簿（任期：平成16年3月1日～平成18年2月28日）

	氏 名	役 職 名	備 考
1	あきづき おきむ 秋月 治	宮城大学事業構想学部教授	
2	そね うら いさお 粹 浦 功夫	仙台市民図書館長	
3	いしだ よしみつ 石田 義光	東北学院大学文学部教授	会長
4	えんどう ゆきお 遠藤 幸生	宮城県古川黎明中学高等学校長	
5	おだ ただお 小田 忠雄	東北大学名誉教授	
6	しおの まさよ 塩野 雅代	東北大学大学院在学中	
7	せきぐち れいこ 関口 怜子	ハート and アート空間BE I 代表取締役	
8	なが の ためかず 永野 為和	河北新報社取締役編制総務室長兼メディア局長	副会長
9	にへい るりこ 二瓶 瑠璃子	加美町中新田図書館副館長	
10	べにむら あきこ 紅邑 晶子	みやぎ・せんだいNPOセンター常務理事兼事務局長	

(2) 第27次宮城県図書館協議会開催状況

第1回 平成17年6月30日（木）

- ・報告事項 平成16年度事業報告及び平成17年度事業計画について
- ・話題提供「叡智の杜事業」について

第2回 平成17年9月1日（木）

- ・協議事項「叡智の杜事業」について

第3回 平成17年12月1日（木）

- ・協議事項「叡智の杜事業」について

(3) 平成17年度宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議

期日 平成17年7月15日（金）

- ・報告事項 平成17年度北日本図書館大会青森大会について
- ・情報交換等

5 実施事業の概要

(1) 企画協力班

イ 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

本館の総合戦略プロジェクト「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の事務局として、本事業の2本柱である「貴重資料の修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の企画立案、運営を行いました。全職員参加のもと、市町村図書館、公民館図書室、学校、地域社会との連携を図りながら事業を推進し、高等学校授業での貴重資料レプリカ活用や司書によるチームティーチングにも取り組みました。

(※本事業の概要と平成17年度実績については、「6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」として掲載しました。)

ロ 広報活動

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』第19号から第21号まで、年3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国の都道府県図書館等に配布しました。
- ・ホームページでは、「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の一環として作成した、『仙台領国絵図』、『魚蟲譜』等、県指定有形文化財の高精細デジタルデータを公開するほか、利用に関する各種情報の発信を行いました。
- ・一般県民の施設見学、小中学校・高等学校の児童・生徒による調べ学習、職場体験などを行い、87団体(延べ2,170名)を受け入れ、図書館理解と利用の促進を図りました。

ハ 市町村図書館・公民館図書室等への支援

- ・県民の図書館サービス享受を実現するために、市町村図書館・公民館図書室への資料提供(本館所蔵資料の協力貸出)を行いました。協力貸出冊数は24,506冊で、県内市町村図書館・公民館図書室等に22,383冊を貸出し、前年度比2%増となりました。
- ・協力貸出資料の配送は協力車と宅配便で実施し、協力車での巡回は、市町村図書館20館を対象に、1館あたり1か月に2回巡回を基本としました。全3コースでの年間69回(延べ92日)巡回を行いました。また市町村図書館間の相互貸借資料の運搬も協力車により行いました。
- ・市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回(5月と11月)開催しました。会議では、栗原市など市町村合併後の図書館サービスの現状と課題について、名取市図書館の障がい者サービスの開始について、石巻市図書館牡鹿分館について等の情報提供がありました。また宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)活用方法等についての協議も行いました。
- ・市町村図書館の運営相談業務は、栗原市、登米市など合併市町村の図書館を重点的に訪問しました。

ニ 市町村図書館・公民館図書室職員研修会

- ・市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、職員研修会1・2を開催しました。平成17年度の新規事業として、公共図書館等館長研修会を行いました。研修会の実施にあっては、「図書館サービス計画立案」「図書館経営の現状と課題」等のワークショップを取り入れました。

ホ 宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)の整備・充実

- ・MY-NETの新規加入は、登米市立登米図書館、女川町生涯教育センターなど4館で、参加館は39館となりました。インターネット公開の県内総合目録は東松島市、蔵王町、利府町図書館が登録、参加館14館となりました。

へ 図書館未設置町村への図書館振興策

- ・図書館の設置や利用促進の気運を醸成するために、11月5日に山元町で、宮城県図書館振興講演会を開催し、地元の家庭文庫による読み聞かせやサークルによる人形劇などを行いました。
- ・平成18年3月末現在図書館未設置の大和町、松島町、女川町など15町村の公民館図書室を訪問し、現状と諸課題等のヒアリングを実施しました。

ト ボランティア活動支援

- ・社会教育施設でのボランティア活動の機会を広げるために、ボランティア募集を行いました。新規登録は66人で、ボランティア登録者は延べ129人となりました。全体研修会のほか、活動内容ごとの専門講座を、書架整理（登録者47人）、視聴覚整理（同17人）、読み聞かせ（同13人）は各2回、音訳（同26人）は6回、展示室案内（同26人）は7回実施しました。

チ 生涯学習相談業務

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、必要な情報を提供するとともに、学習者が直面する様々な問題や悩みの解決に向けて助言等を行いました。相談件数は年間1,864件（面接相談1,590件、電話相談274件）で、生涯学習室への入室者数は5,499人となりました。また県内の生涯学習サークルの作品を展示紹介しました。

リ 生涯学習推進月間事業

10月の1ヶ月間を通して、宮城県図書館の特徴を生かしながら生涯学習に関する8種類のイベントを行いました。生涯学習推進講演会・裁判官出前講座・ちぎり絵体験会・秋のおおはなし会、テーマ講演会「身近な危険から身を守る」（全4回）など、多くの県民の方々にご参加いただきました。

(2) 調査班 調査相談担当

イ レファレンス業務

・利用統計

今年度の個人レファレンス総件数は10,347件で、前年度比約0.5%増となりました。依頼内容の傾向としては、業界情報や会社情報に加え、ビジネスに利用するような範囲を限定したデータ、起業に関する法律や手続きなど、株や証券取引など世相を反映したものも多くありました。図書館間の協力レファレンス依頼は、県外16件を含む170件（前年度比約9%増）となりました。

・レファレンス事例集「としょかん質問箱」の編集・刊行

平成10年度から継続している回答事例を編集・刊行するこの事業では、今年度第15号及び第16号を各700部刊行し、県内外の公共図書館等に配布しました。今後は宮城県図書館のホームページでの公開を計画しています。

ロ 協力借受

利用者の希望により、絶版などの理由で購入できない本について県内外から本を借受した件数は593件（県外100件を含む）となりました。この中には、郵送貸出者への郵送12件を含んでいます。

ハ 電子図書の活用

電子図書の利用は前年度比8%減の502件の利用がありました。件数においては前年度比若干のマイナスとなりましたが、利用可能な端末機の最も利用頻度が高い東京商工リサーチの『CD・Eyes 50 T S R企業情報ファイル』は、1回あたりの利用時間が長くなっています。毎年データの更新時期になると電話での問い合わせも多く、ビジネスパーソンにはこのデータベースの存在が周知されているようです。

CD-ROMの『判例体系』、『現行法規』は操作のし易さと年に数回の更新（『判例体系』は年に2回、『現行法規』は年に4回）による情報の新鮮さから利用頻度が高いように思われます。

(3) 調査班 逐次刊行物担当

イ 整理状況

年間で1,521タイトル（購入455タイトル、寄贈1,066タイトル）を受け入れ、整理しました。

ロ 利用状況

- ・調査相談件数（館内案内含む）は口頭・電話・Eメール・FAX等合わせて4,959件で、前年度比1,093件（館内案内含まず）の増となりました。
- ・閉架書庫資料の出納冊数は4,496人（件）61,137冊（前年度比30,145冊増）、複写枚数は63,659枚（前年度比7,710枚減）となりました。
- ・データベース利用件数は河北データベースが332件（前年度比85件減）、朝日新聞データベースは161件（前年度比141件減）、官報は7件（前年度比7件減）、雑誌記事索引・企業情報等のCD-ROMが264件（前年度比85件減）の利用がありました。
- ・当館で所蔵していない資料中の論文の他館への複写依頼件数は国立国会図書館・大学図書館・公共図書館への依頼が297件（前年度比210件減）となりました。また、他機関から当館への依頼は345件（前年度比466件減）となりました。日本全国から依頼があります。
- ・障がい者サービスでは、新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ157人（前年度比33人増）、点字雑誌の貸出利用は延べ65人84冊（前年度比33人・26冊増）となりました。
- ・マイクロフィルムのリーダー・プリンターの利用者は延べ1,114人（前年度比188人減）でした。

ハ その他

- ・今年度も県内公共図書館の逐次刊行物の購入状況を調査し、「県内公共図書館 雑誌・新聞購入一覧」を作成し、配付しました。
- ・開架雑誌の配置を見直し、①コンピュータ関係は電気通信に②介護雑誌は福祉関係に③情報誌、旅行、女性誌、家庭教育、家庭医学、住まい、家庭の園芸に関するものは生活情報誌に等、それぞれまとめて配架することにより、雑誌を探しやすくしました。
- ・タウンページ、ハローページの配架場所が離れていた全国の電話帳を、まとめて都道府県別に並べ、メモ用の場所を作りました。
- ・26番東側の書架を「しごとに役立つコーナー」としてリニューアルし、別の棚に配置していた年鑑・白書類の最新号をひとつの場所にまとめ、ビジネスの基礎データとして使いやすくしました。
- ・各企業の「環境社会報告書」「CSR報告書」等160社分163タイトルを収集し、配架しました。

(4) 調査班 みやぎ資料室

イ 宮城県指定有形文化財

- ・以下の本館所蔵資料が指定有形文化財に指定されました（平成17年7月26日）。

典籍

『環海異聞』（写本）	16冊
『金城秘韞』（写本）	2冊
『英文翻訳彼理日本紀行』（稿本）	10冊

『奥州名所図会』（自筆稿本） 4冊
『熟語本位英和大辞典』（自筆原稿） 一本

歴史資料

「仙台祭絵関係資料」 1帖, 1巻

ロ 貴重資料専門調査事業

- ・ 県文化財指定に向け、9名の専門調査員による本館所蔵資料の詳細な調査、評価を行い、報告書を作成しました。調査は延べ40日間実施しました。

ハ 「江戸のモノづくり」事業(主催：文部科学省)への協力

- ・ 電気通信大学助教授・佐藤賢一氏のグループ(日本数学資料の所在調査)が本館所蔵資料を調査しました。調査は資料のマイクロフィルム化を中心に計1回、延べ3日間行われ、これらの事業に協力しました。

ニ 整理状況

- ・ 図書は1,325冊(購入780冊, 寄贈545冊), 地図は19枚(購入)を整理しました。また古書16冊(購入1冊, 寄贈15冊)を整理しました。
- ・ 逐次刊行物は、継続タイトルの整理に加えて、新規に雑誌120タイトル, 行政資料88タイトルを受け入れ整理しました。

ホ 利用状況

・ 調査相談件数

調査の内容は郷土史や地誌に関するものが多く、県内のみならず全国からも多数の照会がありました。

依頼区分	口 頭	電 話	文 書	メール	協力レファレンス	計
件 数	7,976件	1,334件	146件	105件	66件(県内37, 県外29)	9,627件

注：「協力レファレンス」は県内公共図書館・公民館図書室からと県外図書館からの調査相談

ヘ 資料の利用状況

- ・ 閉架書庫資料の利用は図書1,860冊, 逐次刊行物2,989冊, 古書7,975冊, 古書複製本288冊になりました。
- ・ 複写サービス(マイクロフィルム, カラーコピー含)の利用は8,691人で71,077枚, 資料保存上電子複写ができない古書等の写真撮影(カメラは利用者持参)は63人, 1,234冊, 22,370コマでした。
- ・ 古書の特別利用は合計92件1,058冊に上りました。博物館等の展示への特別貸出は15件74冊, 出版物への掲載等42件180冊, 写真撮影34件1,285冊(ビデオ含), テレビ放映等が1件1冊でした。

ト 寄贈資料

- ・ 佐々木孝氏(仙台市)から『新增補西国奇談』13冊, 『八頭ノ大蛇』(日本昔噺第9号)1冊の寄贈を受けました。
- ・ 佐藤賢一氏(さいたま市)から『羅経及方位之説』1冊の寄贈を受けました。

(5) 利用サービス班 一般図書

イ 利用状況

- ・ 今年度の貸出冊数は、587,837冊となり前年度より29,596冊減少しました。
- ・ 個人利用者の年間新規登録者数は11,534人で、年度末現在の登録者総数は215,114人になりました。
- ・ 障がい者サービスとしての一般図書の郵送貸出は、年間234件864冊の利用でした。

ロ 資料整理状況

- ・購入11,212冊，寄贈2,946冊の受入・整理を行いました。

ハ その他

- ・中学生・高校生の総合的な学習の時間における職場体験学習として9件，32人を受け入れました。
- ・特別整理期間には，主として開架資料についての蔵書点検作業を実施しました。

(6) 利用サービス班 視聴覚資料

イ 利用状況

今年度の個人貸出点数は200,939点（H16年度209,070点）で，前年度と同様20万件を超えました。開館日1日あたりの貸出点数は702.5点で昨年度と比べ23点の減となっています。

媒体別に見ると貸出点数の52%がビデオテープ，43%がCD，4%が楽譜となっています。

障がい者サービスとしての朗読テープ，ビデオ，CDの郵送貸出数は1,142点で，前年度比287点減となりました。

ロ 資料整理状況

今年度の購入資料点数は664点で，ビデオテープ（207点），DVD（216点），CD（130点）を中心に県民の学習ニーズ，教育の今日的課題，保存の必要性（郷土資料を含む）の視点から収集，受入・整理を行いました。

そのほか，寄贈資料を含めて，674点の整理を行いました。

ハ 館内視聴サービス

本年度の利用状況は下表のとおりでした。利用者数で前年度比3,012人減となっていますが，4万5千人を超える利用数がありました。開館一日あたりの利用者数は約159名です。

館内視聴ブースの利用受付件数・利用者数

年度	受付総数 (件)	資料別内訳						利用者数 (人)
		ビデオ	LD	CD	CD-ROM	DVD	その他	
17	32,999	12,740	1,222	126	230	18,647	34	45,319
16	35,077	13,487	1,517	216	354	19,464	39	48,331

ニ 上映会，LDコンサート

年間55回の上映会を実施し，857人の参加者がありました。1回当たりの参加者数は15.5人でした。

ヘ 音楽鑑賞講座

クラシック音楽に関する講義と鑑賞，在仙演奏家によるミニコンサートを併せて実施しました。90名の申し込みがあり，83名の参加がありました。

ト その他

宮城県視聴覚ライブラリーとして，宮城県視聴覚教育連絡協議会に参加し「視聴覚教材・機材利用状況調査」の刊行や「宮城県自作視聴覚教材コンクール」の運営支援を行いました。

(7) 利用サービス班 児童資料

イ 利用状況

- ・就学前の子どもの登録が，前年度に比べて延べ106人の減となりました。

・学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、小学校2件、中学校12件、高等学校1件、延べ459人の利用がありました。また、「職場体験学習」は、中学校8件、高等学校は2件、延べ33人の受入をしました。

・子ども図書室の施設見学利用は、幼稚園3件、小学校4件、中学校3件、養護学校2件、延べ429人の利用がありました。

・児童文化資料（宮城県立保育専門学院からの寄贈）の貸出は、45団体、延べ144点の利用がありました。

ロ 資料整理状況

・一般図書(開架・閉架)の中から児童に関する研究書等を児童資料研究室へ整理換え、配架をしました。
・県内小学校の修学旅行に関する調べ学習資料として、会津若松市の社会科副読本小学生版・中学生版を市教育委員会へ寄贈依頼し、受入と整理をしました。

・寄贈本等の受入をしました。

・貸出用図書(閉架)の配架整理並びに2階(閉架)書架の図書約3,000冊を4階に移動し、配架整理をしました。

・許諾申請を受けた街頭紙芝居のレプリカ作成(1,300枚)をしました。

・小学生・中学生新聞2紙の整理・製本をしました。

ハ 行事・その他

・第36回子どもの本展示会を4月21日～5月1日まで開催し、延べ761人の入場者がありました。

また、県内公共図書館・公民館図書室のうち希望機関への移動展示会を行い、24会場で延べ5,665人の入場者がありました。

・小学校への移動展示会は、希望校46校で開催、入場者は11,534人ありました。

・子ども読書活動推進への取り組みとして、読み聞かせ団体による生涯学習推進事業「秋の大おはなし会」（10月1日）と協働し、読み聞かせ関連資料を展示しました。約150人の入場がありました。

・「人形劇講習会」（3月1日）を開催。おはなし会や事業等で子ども達の興味、関心、参加意欲を一層喚起するため、おはなし会の導入・補助技法を学びました。宮城県図書館ボランティア、県内公共図書館ボランティア、公民館ボランティア、図書館職員、公民館職員、県内読み聞かせ団体会員が参加しました。

・「ブックツリーカード」読書記録カードの配布をはじめました。

・「おススメの本1冊」を募集。年2回子ども図書室に掲示紹介をしました。

・職員による「おはなし会・紙芝居の上演会」を月1回、実施しました。

・子どもの読書の日（4月23日）を利用して、「1年間に貸出しの多い絵本と読み物の本の紹介」を掲示しました。

・小中高校生の読書感想画コンクール入選作品(県内)を子ども図書室前廊下に、5月から7月までの期間で展示紹介をしました。

・月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」は、前年度に引き続き手作りで発行(80号～91号)しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布、ホームページにも紹介をしました。

ニ 国登録有形文化財指定

・街頭紙芝居(201タイトル, 5,333巻, 52,925枚)、印刷紙芝居等が国の登録有形文化財(美術工芸品)に指定されました。

6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業

—事業の概要と平成17年度の実績—

1 事業の理念と概要

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、総合戦略プロジェクトです。「貴重資料修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門に合計12のメニュー（事業）を設け、平成16年度を初年度に15ヵ年の長期計画を立てています。

「貴重書の修復保存事業」は①貴重資料の体系的学術調査、②国・県有形文化財の指定に向けた準備、③修復保存・レプリカの作成、④修復成果品・レプリカの公開——の4つのメニューで構成されています。

本館特殊コレクションである「伊達文庫」「養賢堂文庫」「青柳文庫」等の古典籍（総計約57,500冊；和古書およそ38,000冊、漢籍・韓書19,000冊、古洋書500冊）などの貴重資料を対象に実施し、平成17年度には『環海異聞』『奥州名所図会』など、6件38点が県有形文化財の指定を受けました。『仙台北下絵図』等の修復を行い、レプリカを作成しました。10月に本館展示室で、平成18年1月に県庁1階ロビーで、3月には県庁講堂で公開しました。

「次世代育成プロジェクト」は図書館の知的財産、人的資源を活用し、22世紀のふるさと・みやぎを牽引する人材を育てようとする事業で、①古典への誘い（対象；高校、市町村）、②名作への誘い（同）、③子どもの本の移動展示会（市町村、小・中学校）、④文化財レプリカの移動展示会（高校・一般）、⑤閉架書庫の見学（市町村、学校司書）、⑥本館紀要『叡智の杜』への市町村、学校司書の参加（市町村、学校司書等）、⑦貴重図書等の企画展示会（一般）、⑧プロジェクト22（一般）——など8つのメニューで構成されます。

これらのメニューの実施にあたっては、それぞれ図書館、教育現場、地域社会——の3者による連携を描いています。

以下に、プロジェクトごとに各メニューを概述します。

2 貴重資料の修復・保存プロジェクト——4つのメニューのあらまし

(1) 貴重資料の体系的学術調査

他の事業よりも早く、平成15年度を初年度として第1次調査が実施され、『禽譜』『環海異聞』『関算四伝書』等についての評価を行い、報告書を作成しました。平成16年度の第2次調査では、朝鮮古刊本、『環海異聞』などを対象に調査、県有形文化財指定という結果に活かされました。

平成17年度の第3次調査では、福島大学名誉教授・小林清治氏、東亜大学教授・川村博忠氏ほか計9名の専門調査員により、『石川文書』『宮城県漁具図解』などを対象に調査、報告書を作成しました。

(2) 国・県有形文化財の指定に向けた準備

本館収蔵の貴重資料を対象に、(1)の「貴重資料の体系的学術調査」の調査報告等に基づき、国・県有形文化指定への準備を進めるものです。平成15年1月に『禽譜』『関算四伝書』等、9件（11帖、10巻、783冊、付図12枚）が本県有形文化財に指定されたことをはじめとし、平成15年7月には『仙台北下絵図』『伊能図』等、11件970点が、平成16年6月には朝鮮古刊本46部262冊が指定されました。平成17年7月には『環海異聞』のほか、本県出身の英語学者・斎藤秀三郎の自筆原稿など、6件38点が指定され、平成18年3月末現在、県指定有形文化財の数は27件2,086点となっています。

一方、国の重要文化財については、平成2年に『坤輿万国全図』が指定を受けています。平成17年度は、

3月の文化審議会を経て、「街頭紙芝居」5,333巻（201タイトル、52,925枚／井上藤吉氏旧蔵）、「印刷紙芝居」312巻（286タイトル、4,150枚）、紙芝居映写機用スライド4巻（4タイトル、19枚）、紙芝居映写機1台、街頭紙芝居舞台1台、太鼓1張など、紙芝居資料5,652点が、国の登録有形文化財（美術工芸品）として登録されました。

（3）資料の修復・保存とレプリカの作成

本館収蔵の貴重資料の損傷を修復し、写真撮影、高精細画像データとレプリカを作成するもので、平成16年度から15ヵ年の長期計画により進めてきました。修復にあたっては文化庁の指導のもと、京都国立博物館文化財保存修理所において、国宝修理装飾師連盟の手によって行われています。平成17年度は『仙台領内道程絵図』『仙台北下絵図』等の絵図類12舗を修復し、絵図2舗、『魚蟲譜』43点のレプリカを作成しました。合わせて写真撮影を行い、デジタルデータ（画像）も制作しました。

（4）修復成果品・レプリカの公開

「貴重書の修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館展示室、県庁ロビーにおいて、修復成果品やレプリカの展示会を実施するとともに、本館ホームページでデジタルデータを公開しています。

平成17年度は、『仙台領国絵図』『魚蟲譜』等のレプリカ展示会を本館、県庁講堂で行いました。また、同資料のデジタルデータは本館ホームページの「叡智の杜Web」で公開しました。

3 次世代育成プロジェクト——8つのメニューのあらまし

（1）「古典への誘い」——県内高等学校等を会場とした古典文学複製本の巡回貸出——

高等学校の授業にも登場する『源氏物語絵巻』『徒然草』等、古典文学の複製資料5点を1セット（全5セット）とした巡回貸出を実施しています。

平成17年度高校では角田高等学校、貞山高等学校など10校で実施し、このうち涌谷高等学校では複製資料を活用した授業が実践されました。市町村では女川町生涯教育センター、角田市図書館の2施設で開催されました。

（2）「名作への誘い」——県内高等学校等を会場とした近代文学複製本の巡回貸出——

夏目漱石の『吾輩は猫である』、芥川龍之介の『羅生門』、石川啄木の『悲しき玩具』等、近代文学を代表する作品（初版本）の複製本40冊を1セット（全2セット）とした巡回展示で、名作を美しい装丁とともに鑑賞する機会を設けました。平成17年度は迫桜高等学校、名取高等学校など4校で開催しました。

（3）「子どもの本の移動展示会」

毎年、本館、市町村図書館、公民館図書室において開催してきた「子どもの本の展示会」について、会場を県内小・中学校にまで拡大して実施するものです。現在、本県では子ども読書推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

平成17年度は、市町村図書館・公民館図書室では計24館で開催され、入場者数は5,665人、また小学校46校でも開催され、入場者数は11,534人となりました。

(4) 「文化財レプリカの移動展示会」—県内高等学校・市町村図書館等を会場とした文化財レプリカの移動展示会—

本館貴重資料・文化財レプリカの移動展示会を、県内高等学校、市町村図書館等を会場に開催し、みやぎの叡智を身近に鑑賞する機会を提供する事業です。

平成17年度は、有備館（岩出山町）、白石市図書館など12会場において、『坤輿万国全図』『禽譜』等レプリカの展示会を開催しました。登米高等学校、蔵王高等学校では、文化財レプリカを活用した授業が実施され、生徒たちと文化財のふれあいの場をつくることができました。

(5) 「閉架書庫の見学」—市町村図書館・県内高等学校の司書等を対象とした閉架書庫見学—

県内高等学校の図書館司書等を対象に、教育の場において、約100万冊におよぶ本館資料の活用を促すことを目的に実施しています。本館職員の案内のもと、閉架書庫の見学を行い、図書館利用についての意見交換を行っています。

平成17年度は、築館高等学校の教員と生徒計20名のほか、大河原教育事務所管内中学校図書部会教員、大和町公民館図書室職員など8団体が閉架書庫を見学し、本館所蔵資料と機能についての理解を深めました。

(6) 宮城県図書館紀要『叡智の杜』への寄稿—市町村図書館・県内高等学校の司書による寄稿—

市町村図書館職員、学校図書館司書との連携を強化し、相互にレベルアップを図るため、論文、研究レポート、読書活動の事例報告などについて、本館紀要『叡智の杜』への寄稿を促すものです。

『叡智の杜』は平成15年度に創刊され、平成16年度に第2号を発行。平成17年度の第3号においては、「矢本町立図書館から東松島市図書館として」（東松島市図書館司書）、「“朝読書”との出会い」（石巻西高等学校司書）、「図書館展示を向上させる“発見と感動”の視点」（東北大学附属図書館司書）等、10名から寄稿がありました。

(7) 貴重図書等の企画展示会

県指定有形文化財等の本館貴重書は、本館展示室を会場に、特別展示会「きらめく叡智と美のしずく展」としてシリーズで開催しています。これまで、第1回・平成15年2月に『禽譜』『関算四伝書』等の伊達文庫収蔵貴重書を中心に紹介、第2回・平成15年5月に『仙台領国絵図』『伊能図』等の古地図類、第3回・平成16年6月に朝鮮古刊本、『ビュフォン博物誌』等の蘭書等——を展示、一般公開しました。第4回・平成17年6月は『環海異聞』『奥州名所図会』、本県出身の英語学者・斎藤秀三郎の自筆原稿等の展示を行いました。

また、平成16年度に本館職員の自由な発案を活かした企画展示会をスタートさせましたが、平成17年度は、『明治・夢の絵本～ちりめん本と『大日本の児童の歌』～』『平間至展～現在を映す平間至写真の世界～』等、7回の開催となりました。

(8) 「プロジェクト22」—宮城県図書館活用推進事業—

平成16年度にスタートした新規プロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。本館職員による6つのチーム(各3～6人)を編成し、次のような行事を実施しました。

▽Aチーム：「やってみよう絵本ってこんなにおもしろい～読書が楽しくなる2つのゲームをとおして

～」／「読書へのアニメーション」の一環として、「これ、きみの役だよ」等の活動を通して、子どもたちに読書の楽しさを味わってもらいました。また、保護者の方には、読書手法を紹介しました。7月に実施し、34名の参加がありました。

▽Bチーム：「記念日探検隊～図書館で記念日を体験してみませんか～」／参加者の記念日に関する資料探索をとおして、図書館資料検索のコツ、図書館資料の利用方法等を紹介しました。8月実施で、夏休み中の親子4組（10名）が自身の記念日に関する資料探索に挑戦しました。

▽Cチーム：「ちょっとだけ図書館員～図書館の仕事を体験してみませんか～」／カウンター業務、ラベル貼付の図書装備作業など、図書館員の仕事を体験してもらう企画です。9月実施で、8名の参加があり、図書館業務への理解を促すことができました。

▽Dチーム：県民参加ゼミナール「本と書評の考現学―書評でたどる文学界今昔―」／普段「本」にとって“わき役”となっている「書評」に光をあてた企画です。「第二次世界大戦」と「二世作家」をキーワードに選んだ11冊の本について書評の読み比べを行い、時代背景や世相にふれながら、本と作家の魅力の再発見を試みました。仙台白百合学園高等学校の放送部員2名の協力もいただき、作品の朗読も行いました。11月に実施し、42名の参加がありました。

▽Eチーム：「パソコン・はじめの一步～マウス・キーボード操作からインターネットまで～」／パソコン初心者を対象に、マウス、ワープロソフト等の基本操作からインターネットでの本館蔵書検索まで、実習講座を行いました。12月に実施し、2日間で延べ21名の参加がありました。

▽Fチーム：「紙であそぼう！～和綴じ本と立体カードをつくってみよう～」／和綴じ本の作製をとおして、読書意欲の喚起をねらいとした企画でした。製本、本の装丁にも関心をもってもらうことができました。1月に実施し、12名の参加がありました。

以上、「プロジェクト22」の6つの企画に加えて、前年度の成果を踏まえて、「図書館ツアー」と「OPAC（館内蔵書検索機）講習会」を定例化して隔月実施しました。図書館ツアーは計5回で、延べ68名の参加がありました。「OPAC講習会」は計5回実施し、延べ29名が参加しました。

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となりましたが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

※※

「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」は、平成18年度においても本館の重点事業として位置づけ、全職員参加のもと、市町村図書館、公民館図書室、学校、地域社会と連携し、着実な進捗を図ることとしております。

※ なお、この稿は「5 実施事業の概要」及び「8 主催事業の概要」等の記載内容と重複していますが、「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」としてまとめたものです。

7 平成17年度図書館資料利用状況等（統計）

(1) 受入資料一覧表

図書・視聴覚資料

(現在高 = 平成18年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	11,212	2,946	287	14,445	2,090	12,355	631,684
洋書	62	123		185	9	176	16,778
ハングル資料	19			19		19	1,299
中国書	4	190		194		194	5,795
郷土資料	780	545		1,325	5	1,320	52,851
和古書	1	15		16		16	38,415
漢籍							18,886
地図資料	19			19		19	9,591
貸出用児童書	2,816	84	391	3,291	18	3,273	57,691
保存用児童書	2,781	208		2,989	1,714	1,275	79,237
貸出用紙芝居				0	34	-34	713
街頭紙芝居			13	13		13	5,333
教育紙芝居			47	47		47	1,473
電子図書		15		15		15	922
マイクロフィルム	303	10		313		313	16,105
館外用図書							11,439
図書資料小計	17,997	4,136	738	22,871	3,870	19,001	948,212
16mmフィルム							1,683
録画テープ(Uマチック)							24
録画テープ(ベータ)							30
録画テープ(VHS)	207	117		324	23	301	14,204
8mmフィルム							18
CD-ROM(主に映像)			1	1		1	339
レコード			1	1		1	5,871
コンパクトディスク	130	191	16	337	12	325	15,754
楽譜	6	262		268	5	263	10,591
レーザーディスク			2	2		2	2,339
DVDビデオ	216	45		261		261	1,720
カセットテープ	105	9	30	144		144	4,295
オープンリールテープ						0	773
スライドフィルム						0	1,174
視聴覚資料小計	664	624	50	1,338	40	1,298	58,815
総計	18,661	4,760	788	24,209	3,910	20,299	1,007,027

逐次刊行物

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	8,006種	1,521種	455種	1,066種	38種
	みやぎ資料室	2,219種	911種	20種	891種	
	子ども図書室	159種	37種	14種	23種	
年鑑・年報	新聞雑誌室	2,615種	541種	253種	288種	
	子ども図書室	8種	0種			
行政資料	新聞雑誌室	1,993種	311種	180種	131種	
	みやぎ資料室	1,959種	540種	1種	539種	
新 聞	新聞雑誌室	590種	94種	67種	27種	1種
	みやぎ資料室	270種	125種		125種	
	子ども図書室	2種	2種	2種		
計		17,821種	4,082種	992種	3,090種	39種
前年度		16,932種	4,434種	1,046種	3,388種	46種

*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

(2) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

	開館日数	入館者数	1日平均 入館者数	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
平成17年 4月	25日	45,764人	1,831人	83,717冊	3,349冊	2,855件
5月	25日	50,354人	2,014人	87,730冊	3,509冊	3,063件
6月	25日	51,427人	2,057人	84,006冊	3,360冊	2,904件
7月	26日	58,019人	2,232人	99,161冊	3,814冊	3,878件
8月	25日	58,258人	2,330人	91,415冊	3,657冊	4,730件
9月	25日	51,075人	2,043人	85,076冊	3,403冊	3,710件
10月	25日	51,009人	2,040人	88,949冊	3,558冊	3,661件
11月	25日	49,479人	1,979人	85,343冊	3,414冊	3,671件
12月	23日	39,453人	1,715人	76,117冊	3,309冊	2,810件
平成18年 1月	18日	34,700人	1,928人	66,597冊	3,700冊	2,794件
2月	18日	33,912人	1,884人	63,889冊	3,549冊	2,826件
3月	26日	46,417人	1,785人	85,239冊	3,278冊	2,783件
合 計	286日	569,867人	1,993人	997,239冊	3,487冊	39,685件
前年度合計	285日	605,559人	2,125人	1,039,410冊	3,647冊	44,770件
増 減	+1日	- 35,692人	- 132人	- 42,171冊	- 160冊	- 5,085件

(3) 利用登録者数

	17年3月末現在	18年3月末現在
利用登録者数	203,586人	215,114人
対前年比	+ 14,135人	+ 11,528人
新規登録者数	14,148人	11,534人
実利用者数	49,859人	46,801人

* 対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

* 実利用者数は、年度内に登録、貸出等の図書館利用が1回以上あった利用者数を示す

居住市町村別内訳(平成17年度分で構成比の多い順)

○利用登録者数

	17年3月末現在		18年3月末現在	
	登録者数	構成比	登録者数	構成比
仙台市	156,626人	77.0%	165,114人	76.8%
(内訳)青葉区	50,626人	24.9%	53,406人	24.8%
宮城野区	15,055人	7.4%	15,890人	7.4%
若林区	6,669人	3.3%	7,030人	3.3%
太白区	14,946人	7.3%	15,659人	7.3%
泉区	69,330人	34.1%	73,129人	34.0%
富谷町	12,885人	6.3%	13,769人	6.4%
大和町	4,707人	2.3%	4,971人	2.3%
利府町	3,687人	1.8%	3,904人	1.8%
多賀城市	3,185人	1.6%	3,392人	1.6%
名取市	3,066人	1.5%	3,223人	1.5%
古川市	2,483人	1.2%	2,714人	1.3%
塩竈市	2,241人	1.1%	2,408人	1.1%
その他	14,706人	7.2%	15,619人	7.2%
合計	203,586人	100.0%	215,114人	100.0%

○個人貸出冊数

	平成16年度		平成17年度	
	貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比
仙台市	823,588冊	79.3%	790,173冊	79.2%
(内訳)青葉区	255,434冊	24.6%	236,346冊	23.7%
宮城野区	42,662冊	4.1%	39,776冊	4.0%
若林区	11,214冊	1.1%	9,734冊	1.0%
太白区	36,923冊	3.6%	34,155冊	3.4%
泉区	477,355冊	45.9%	470,162冊	47.1%
富谷町	97,182冊	9.3%	97,240冊	9.8%
大和町	26,359冊	2.5%	25,800冊	2.6%
利府町	14,546冊	1.4%	13,477冊	1.4%
古川市	9,851冊	0.9%	8,554冊	0.9%
多賀城市	8,123冊	0.8%	7,087冊	0.7%
塩竈市	6,887冊	0.7%	6,385冊	0.6%
名取市	7,186冊	0.7%	6,378冊	0.6%
その他	45,688冊	4.4%	42,145冊	4.2%
合計	1,039,410冊	100.0%	997,239冊	100.0%

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	25,241	34,568	71,264	115,637	43,665	41,765	26,043	55,768	11,752	160,541	45,440	23,872	110,152	144,447	58,815	38,057	1,007,027
構成比 *1	2.5%	3.4%	7.1%	11.5%	4.3%	4.2%	2.6%	5.5%	1.2%	16.0%	4.5%	2.4%	10.9%	14.3%	5.8%	3.8%	100.0%
構成比 *2	4.3%	5.9%	12.2%	19.7%	7.4%	7.1%	4.4%	9.5%	2.0%	27.5%							
前年度計	24,673	33,556	69,087	113,500	41,452	40,465	25,660	54,283	11,843	157,913	46,897	23,483	108,827	139,873	57,517	37,699	986,728
増減	568	1,012	2,177	2,137	2,213	1,300	383	1,485	-91	2,628	-1,457	389	1,325	4,574	1,298	358	20,299
貸出冊数																	
17年4月	1,337	2,832	4,299	7,069	3,617	5,457	2,224	5,312	939	16,378	73	205		16,672	17,303		83,717
5月	1,263	3,000	4,209	7,910	4,143	6,028	2,660	5,532	909	16,677	87	208		16,646	18,458		87,730
6月	1,146	2,783	4,129	7,263	3,979	5,827	2,469	5,268	899	16,847	62	181		15,926	17,227		84,006
7月	1,263	3,122	4,909	8,298	4,554	6,527	2,813	6,158	1,119	18,306	86	200		22,527	19,279		99,161
8月	1,097	2,870	4,361	7,429	4,285	5,682	2,254	5,479	1,079	17,715	66	210		21,340	17,548		91,415
9月	1,053	2,795	4,310	7,231	3,560	5,848	2,189	5,403	935	17,101	85	223		17,266	17,077		85,076
10月	1,140	2,888	4,069	7,466	4,022	5,887	2,376	5,412	843	17,853	118	190		18,743	17,942		88,949
11月	1,158	2,839	3,948	7,396	3,678	5,845	2,163	5,146	892	17,108	69	185		17,705	17,211		85,343
12月	1,062	2,604	3,525	6,551	3,119	5,168	1,989	4,482	757	15,653	45	173		16,134	14,855		76,117
18年1月	978	2,327	3,316	6,014	2,848	4,457	1,636	3,986	763	13,848	54	156		13,030	13,184		66,597
2月	828	2,019	3,075	4,750	2,845	4,226	1,631	3,953	697	13,082	52	156		13,392	13,183		63,889
3月	1,136	2,871	3,725	5,924	3,560	5,477	2,086	5,297	890	17,303	67	149		19,082	17,672		85,239
年度計	13,461	32,950	47,875	83,301	44,210	66,429	26,490	61,428	10,722	197,871	864	2,236	-	208,463	200,939	-	997,239
構成比 *1	1.3%	3.3%	4.8%	8.4%	4.4%	6.7%	2.7%	6.2%	1.1%	19.8%	0.1%	0.2%		20.9%	20.1%		100.0%
構成比 *2	2.3%	5.6%	8.2%	14.2%	7.6%	11.4%	4.5%	10.5%	1.8%	33.9%							
前年度計	12,420	32,995	51,240	92,496	47,098	67,891	27,547	66,953	12,483	200,239	3,280	2,791	-	212,907	209,070	-	1,039,410
増減	1,041	-45	-3,365	-9,195	-2,888	-1,462	-1,057	-5,525	-1,761	-2,368	-2,416	-555		-4,444	-8,131		-42,171

構成比 *1：対総数での構成比を算出したもの

構成比 *2：一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

館内貸出冊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17年度	5,175	5,920	6,153	6,808	6,990	6,089	6,035	5,744	4,914	4,192	3,821	5,629	67,470
前年度	5,797	6,271	6,102	7,047	7,620	6,362	6,556	5,948	5,559	6,120	4,420	4,215	72,017
増減	-622	-351	51	-239	-630	-273	-521	-204	-645	-1,928	-599	1,414	-4,547

(5) 古書閲覧及び特別利用

		閲覧利用	特別利用								
			特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾	計
17年 4月	利用件数	0件	1件			3件					4件
	利用冊数	0冊	4冊			8冊					12冊
5月	利用件数	4件	2件	2件		3件					7件
	利用冊数	30冊	3冊	14冊		10冊					27冊
6月	利用件数	7件		3件		3件					6件
	利用冊数	62冊		11冊		5冊					16冊
7月	利用件数	11件		4件		3件					7件
	利用冊数	286冊		10冊		8冊					18冊
8月	利用件数	13件	3件	7件		3件			1件		14件
	利用冊数	1,432冊	18冊	377冊		5冊			1冊		401冊
9月	利用件数	14件	3件	5件		3件					11件
	利用冊数	795冊	17冊	22冊		9冊					48冊
10月	利用件数	14件				3件					3件
	利用冊数	611冊				4冊					4冊
11月	利用件数	14件	1件	1件		1件					3件
	利用冊数	585冊	1冊	5冊		6冊					12冊
12月	利用件数	13件		4件		4件					8件
	利用冊数	1,797冊		609冊		5冊					614冊
18年 1月	利用件数	14件		2件		1件					3件
	利用冊数	401冊		9冊		1冊					10冊
2月	利用件数	19件	1件	3件		3件					7件
	利用冊数	1,929冊	10冊	220冊		78冊					308冊
3月	利用件数	7件	4件	3件		12件					19件
	利用冊数	47冊	21冊	8冊		41冊					70冊
計	利用件数	130件	15件	34件	0件	42件	0件	0件	1件	0件	92件
	利用冊数	7,975冊	74冊	1,285冊	0冊	180冊	0冊	0冊	1冊	0冊	1,540冊
前年度計	利用件数	119件	38件	38件	1件	71件	1件	2件	2件	0件	153件
	利用冊数	5,571冊	219冊	496冊	6冊	330冊	1冊	3冊	3冊	0冊	1,058冊

(6) 調査相談の利用

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
17年 4月	664件	38件	40件	2,112件	1件	2,855件
5月	698件	16件	33件	2,316件		3,063件
6月	610件	19件	21件	2,249件	5件	2,904件
7月	652件	26件	38件	3,161件	1件	3,878件
8月	703件	27件	50件	3,949件	1件	4,730件
9月	674件	55件	64件	2,916件	1件	3,710件
10月	668件	30件	30件	2,932件	1件	3,661件
11月	599件	18件	32件	3,022件		3,671件
12月	504件	25件	21件	2,259件	1件	2,810件
18年 1月	422件	15件	27件	2,329件	1件	2,794件
2月	516件	63件	71件	2,171件	5件	2,826件
3月	439件	100件	29件	2,214件	1件	2,783件
計	7,149件	432件	456件	31,630件	18件	39,685件
前年度計	7,929件	521件	504件	35,785件	31件	44,770件

(7) 文献複写の利用

○種類別枚数

種別		枚数
電子複写	白黒	171,592 (185,175)
	カラー	587 (595)
マイクロフィルム		17,557 (15,969)
写真撮影		22,741 (121)
計		212,477 (201,860)
月平均		17,706 (16,822)

○受付窓口別枚数

種別	枚数
一般図書 カウンター	28,709 (29,864)
調査相談 カウンター	26,662 (32,274)
新聞雑誌室	63,659 (71,369)
みやぎ資料室	93,447 (68,353)
計	212,477 (201,860)

() 前年度

(8) 図書館間の相互協力

協力貸出冊数

図書館名	16年度	17年度
仙台市民	1,305冊	1,181冊
仙台市広瀬	183冊	235冊
仙台市宮城野	471冊	355冊
仙台市榴岡	491冊	466冊
仙台市泉	567冊	552冊
仙台市若林	845冊	508冊
仙台市太白	423冊	695冊
石巻市	528冊	556冊
塩竈市	686冊	664冊
古川市	483冊	754冊
気仙沼市	320冊	551冊
白石市	405冊	394冊
名取市	738冊	722冊
角田市	653冊	693冊
多賀城市	653冊	651冊
岩沼市	406冊	504冊

図書館名	16年度	17年度
蔵王町	416冊	475冊
丸森町	15冊	2冊
亘理町	526冊	505冊
利府町	706冊	738冊
加美町中新田	85冊	96冊
加美町小野田	4冊	35冊
小牛田町	1,082冊	1,149冊
築館町	558冊	1,425冊
迫町	528冊	597冊
登米町	28冊	129冊
矢本町	579冊	493冊
志津川町	180冊	189冊
本吉町	1,053冊	834冊
小計	14,917冊	16,148冊
公民館図書室等	6,939冊	6,235冊
県外図書館等	2,250冊	2,123冊
合計	24,106冊	24,506冊

協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	16年度	17年度
北海道	320冊	218冊
青森	186冊	192冊
岩手	296冊	307冊
秋田	138冊	149冊
山形	354冊	284冊
福島	292冊	330冊
茨城	28冊	39冊
栃木	10冊	27冊
群馬	14冊	18冊
埼玉	44冊	43冊
千葉	45冊	72冊
東京	18冊	14冊
神奈川	14冊	12冊
新潟	108冊	53冊
山梨	20冊	27冊
長野	30冊	31冊
静岡	31冊	33冊
富山	10冊	4冊
石川	3冊	6冊
福井	22冊	8冊
岐阜	10冊	11冊
愛知	22冊	31冊
三重	22冊	5冊

都道府県	16年度	17年度
滋賀	11冊	5冊
京都	40冊	28冊
大阪	12冊	23冊
兵庫	7冊	10冊
奈良	7冊	9冊
和歌山	0冊	0冊
鳥取	13冊	6冊
島根	1冊	16冊
岡山	23冊	19冊
広島	0冊	5冊
山口	5冊	10冊
徳島	3冊	2冊
香川	1冊	1冊
愛媛	5冊	11冊
高知	1冊	6冊
福岡	30冊	21冊
佐賀	10冊	5冊
長崎	9冊	9冊
熊本	26冊	1冊
大分	1冊	1冊
宮崎	6冊	6冊
鹿児島	0冊	3冊
沖縄	2冊	12冊
計	2,250冊	2,123冊

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数			借受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
17年 4月	1,648冊	177冊	1,825冊	33冊	13冊		46冊	8件	6件	14件		2件	17件	19件	23件	9件	32件
5月	1,724冊	201冊	1,925冊	62冊	20冊		82冊	15件	6件	21件	1件	3件	9件	13件	20件	2件	22件
6月	2,060冊	190冊	2,250冊	40冊	58冊		98冊	6件	58件	64件		4件	70件	74件	24件	6件	30件
7月	1,928冊	222冊	2,150冊	46冊	36冊		82冊	16件	34件	50件	2件	6件	33件	41件	12件	6件	18件
8月	1,670冊	144冊	1,814冊	41冊	34冊		75冊	2件	46件	48件		9件	33件	42件	12件	9件	21件
9月	1,814冊	180冊	1,994冊	64冊	36冊		100冊	6件	14件	20件	1件	1件	24件	26件	19件	8件	27件
10月	1,853冊	178冊	2,031冊	61冊	43冊		104冊	5件	21件	26件			15件	15件	21件	4件	25件
11月	2,258冊	194冊	2,452冊	41冊	38冊		79冊	11件	27件	38件	1件	10件	22件	33件	19件	2件	21件
12月	1,851冊	174冊	2,025冊	38冊	41冊		79冊	3件	19件	22件		2件	10件	12件	14件	2件	16件
18年 1月	1,670冊	141冊	1,811冊	34冊	30冊		64冊	5件	3件	8件		3件	13件	16件	11件	1件	12件
2月	2,115冊	150冊	2,265冊	33冊	31冊		64冊	12件	41件	53件		1件	69件	70件	40件	8件	48件
3月	1,792冊	172冊	1,964冊	46冊	27冊		73冊	14件	6件	20件	5件	17件	29件	51件	10件	6件	16件
計	22,383冊	2,123冊	24,506冊	539冊	407冊	0冊	946冊	103件	281件	384件	10件	58件	344件	412件	225件	63件	288件
前年度計	21,856冊	2,250冊	24,106冊	492冊	678冊	14冊	1,184冊	296件	543件	839件	22件	42件	569件	633件	264件	57件	321件

貸出依頼件数

	平成16年度	平成17年度
貸出依頼件数	22,072件	22,935件
所蔵件数	20,726件	22,118件
購入	497件	262件
借受・他館紹介等	154件	59件
提供不可	406件	495件
調査相談	321件	288件

宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働実績

	平成16年度	平成17年度
貸出依頼件数	14,947件	16,531件
月平均	1,245.6件	1,377.6件
館当たり平均	553.6件	590.4件
所蔵館調査依頼	149件	59件
月平均	12.4件	4.9件
館当たり平均	5.5件	2.1件
参加図書館数	27館	28館
参加館増減	+3館	+1館

(9) 障がい者サービス
郵送貸出の利用

	新規登録	郵送貸出資料別							合計
		図書	朗読テープ		点字雑誌	ビデオ	CD		
17年 4月	3人	利用件数	23件	20件		4件	0件	0件	47件
		利用冊数	82冊	39タイトル	114点	6冊	0点	0点	202点
5月	2人	利用件数	21件	47件		0件	7件	11件	86件
		利用冊数	81冊	29タイトル	142点	0冊	17点	53点	293点
6月	2人	利用件数	25件	31件		7件	7件	14件	84件
		利用冊数	86冊	39タイトル	166点	8冊	17点	49点	326点
7月	3人	利用件数	27件	28件		4件	7件	12件	78件
		利用冊数	100冊	31タイトル	147点	4冊	24点	49点	324点
8月	3人	利用件数	32件	25件		6件	8件	11件	82件
		利用冊数	126冊	26タイトル	85点	6冊	27点	47点	291点
9月	1人	利用件数	30件	34件		6件	5件	12件	87件
		利用冊数	92冊	40タイトル	142点	6冊	15点	55点	310点
10月	3人	利用件数	26件	29件		6件			61件
		利用冊数	90冊	34タイトル	140点	6冊			236点
11月	3人	利用件数	24件	52件		6件	4件	13件	99件
		利用冊数	87冊	10タイトル	112点	7冊	16点	54点	276点
12月	3人	利用件数	30件	27件		5件	6件	7件	75件
		利用冊数	99冊	25タイトル	111点	7冊	15点	31点	263点
18年 1月	1人	利用件数	29件	26件		6件	4件	9件	74件
		利用冊数	99冊	21タイトル	99点	9冊	15点	36点	258点
2月	5人	利用件数	24件	26件		5件	9件	13件	77件
		利用冊数	82冊	19タイトル	90点	8冊	20点	43点	243点
3月	6人	利用件数	33件	27件		8件	10件	18件	96件
		利用冊数	103冊	31タイトル	136点	13冊	23点	69点	344点
計	35人	利用件数	324件	372件		63件	67件	120件	946件
		利用冊数	1,127冊	344タイトル	1,484点	80冊	189点	486点	3,366点
前年度計	21人	利用件数	314件	281件		29件	90件	117件	831件
		利用冊数	1,127冊	386タイトル	1,455点	53冊	269点	432点	3,336点

音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービス						調査相談件数	
		朗読テープの作成		対面朗読		電話朗読			計
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
17年 4月	実施件数	1件	1件			3件	17件	22件	48件
	のべ時間	0.5時間	0.5時間			1.3時間	8.8時間	11.1時間	
5月	実施件数	1件	1件				4件	6件	26件
	のべ時間	0.5時間	2.0時間				4.0時間	6.5時間	
6月	実施件数	1件	1件			8件	7件	17件	43件
	のべ時間	0.5時間	2.0時間			4.1時間	7.3時間	13.9時間	
7月	実施件数	1件	1件			10件	10件	22件	47件
	のべ時間	0.5時間	2.0時間			5.7時間	8.4時間	16.6時間	
8月	実施件数	1件	1件			7件	15件	24件	83件
	のべ時間	0.5時間	2.0時間			2.6時間	12.3時間	17.4時間	
9月	実施件数	1件	1件	3件	1件	7件	8件	21件	63件
	のべ時間	0.5時間	1.5時間	6.0時間	2.0時間	2.1時間	4.8時間	16.9時間	
10月	実施件数	1件	2件			4件	14件	21件	54件
	のべ時間	0.5時間	2.5時間			2.5時間	10.5時間	16.0時間	
11月	実施件数	2件	2件			3件	14件	21件	65件
	のべ時間	1.0時間	3.0時間			0.9時間	14.8時間	19.7時間	
12月	実施件数	1件	2件			5件	11件	19件	51件
	のべ時間	0.5時間	2.5時間			1.0時間	9.0時間	13.0時間	
18年 1月	実施件数	2件	1件			4件	10件	17件	48件
	のべ時間	1.0時間	2.0時間			2.0時間	8.3時間	13.3時間	
2月	実施件数	2件	1件			3件	6件	12件	150件
	のべ時間	1.5時間	1.5時間			0.9時間	5.1時間	9.0時間	
3月	実施件数	1件	1件			8件	14件	24件	113件
	のべ時間	0.5時間	1.5時間			1.3時間	12.0時間	15.3時間	
計	実施件数	15件	15件	3件	1件	62件	130件	226件	791件
	のべ時間	8.0時間	23.0時間	6.0時間	2.0時間	24.4時間	105.3時間	168.6時間	
前年度計	実施件数	3件	33件	0件	0件	55件	162件	253件	678件
	のべ時間	4.5時間	54.0時間	0.0時間	0.0時間	25.1時間	135.6時間	219.2時間	

(10) 生涯学習相談

	相談 受付 日数	相談 受付 件数	1 日 平均 件数	受付方法別		相談内容別						
				面 接 相 談	電 話 相 談	イ学 ベ習 ン機 ト会	場施 所設	グ団 ル ー プ体	指講 導 者師	資 格	情 報 源	そ の 他
17年 4月	25	127	5.08	106	21	30	11	5	8	9	39	25
5月	25	182	7.28	146	36	65	15	17	20	3	35	27
6月	25	194	7.76	151	43	46	17	15	6	7	44	59
7月	26	171	6.5769	150	21	55	12	8	8	2	56	30
8月	25	132	5.28	116	16	37	11	7	6	2	33	36
9月	25	131	5.24	116	15	38	18	5	7	1	31	31
10月	25	215	8.6	171	44	85	11	15	24	1	34	45
11月	25	168	6.72	155	13	75	16	8	6	4	23	36
12月	23	106	4.6087	97	9	39	7	12	3	5	16	24
18年* 1月	23	138	6	123	15	48	12	7	6	1	21	43
* 2月	24	167	6.9583	143	24	70	7	6	12	2	26	44
3月	26	133	5.1154	116	17	33	9	8	11	5	39	28
合 計	297	1,864	6.3	1,590	274	621	146	113	117	42	397	428
構成比		100.0%		85.3%	14.7%	33.3%	7.8%	6.1%	6.3%	2.2%	21.3%	23.0%
前年度計	286	1,913	6.7	1,578	335	749	208	96	155	66	376	263

* 特別整理期間(17年度=1/26~2/8 16年度=2/24~3/9) 中も電話での生涯学習相談に対応しているため、相談受付日数が図書館の開館日数よりも多くなっている。

区分	相談者の 男女別		相談者の年齢層別						計
	男	女	19歳 以下	20歳 ~ 29歳	30歳 ~ 39歳	40歳 ~ 49歳	50歳 ~ 59歳	60歳 以上	
人 数	1,158	706	42	148	285	202	424	763	1,864
構成比	62.1%	37.9%	2.3%	7.9%	15.3%	10.8%	22.7%	41.0%	100.0%
前年度計	1,131	782	46	201	268	246	417	735	1,913

(11) 施設見学状況

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成17年 4月	0	0	0	0	3	16	0	0	0	0	3	16
5月	0	0	1	45	3	141	1	67	1	6	6	259
6月	0	0	4	74	5	139	2	39	1	6	12	258
7月	0	0	4	110	7	137	1	46	1	2	13	295
8月	0	0	2	29	1	47	0	0	1	5	4	81
9月	0	0	6	199	2	76	3	111	3	46	14	432
10月	1	21	2	37	2	115	2	48	3	11	10	232
11月	0	0	7	145	3	118	2	36	3	7	15	306
12月	0	0	2	58	1	50	1	20	2	6	6	134
平成18年 1月	0	0	0	0	2	120	0	0	0	0	2	120
2月	0	0	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21
3月	0	0	1	16	0	0	0	0	0	0	1	16
合計	1	21	30	734	29	959	12	367	15	89	87	2,170
前年度合計	0	0	40	1,045	33	1,409	16	485	12	55	101	2,994

8 主催事業の概要

(1) 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

イ 特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成17年6月4日(土) ～8月4日(木)	『叡智の杜にきらめく先人たち』 ～江戸から明治期における海外見聞から仙台見聞まで～ 〈県指定有形文化財(平成17年6月指定)資料を公開〉
2	平成17年8月9日(火) ～9月1日(木)	『東北歌壇を支えた歌人 扇畑忠雄追悼展』
3	平成17年10月8日(土) ～12月1日(木)	『叡智の杜をめぐる魚蟲譜』 ～江戸博物学の精華～
4	平成17年12月3日(土) ～平成18年1月25日(水)	『浮世絵(レプリカ)展』
5	平成18年2月9日(木) ～4月2日(日)	『紙芝居展』～日本が生んだメディアの世界～

ロ 企画展

回	開催期間	タイトル
1	平成17年5月7日(土) ～6月30日(木)	『明治・夢の絵本』 ～ちりめん本と『大日本の児童の歌』～
2	平成17年7月2日(土) ～9月1日(木)	『水木しげると街頭紙芝居』
3	平成17年9月3日(土) ～11月3日(木)	『文学にみるみやぎ 近代編 東北歌壇を支えた歌人 扇畑忠雄追悼展』
4	平成17年11月5日(土) ～12月28日(水)	『SFの父 ジュール・ヴェルヌ』
5	平成18年1月5日(木) ～3月2日(木)	『図書館びっくり大賞』 ～こんな本もあったのか!?!～
6	平成18年3月4日(土) ～5月7日(日)	『平間至展』 ～ ^{いま} 現在を映す平間至写真の世界～

ハ 県庁移動展示

回	開催期間	場所	タイトル	内容
1	平成18年1月16日(月) ～1月20日(金)	1階・2階 ロビー	『きらめく貴重書の世界 ～江戸博物学の精華～』	『禽譜』『魚蟲譜』 〈複製資料〉
2	平成18年3月13日(月) 3月14日(火)	講堂	『きらめく叡智と美のしづく 展』	『仙台領国絵図』 〈複製資料〉

ニ 「プロジェクト22」 宮城県図書館活用推進事業～もっと身近な県図書館を目指して～

・職員6チーム (A～F) による自主企画事業

回	日時	内 容	対象・参加人数
1	7月2日(土)	Aチーム「やってみよう絵本ってこんなにおもしろい」 ～読書が楽しくなる2つのゲームを通して～ ・「これ、きみの役だよ」「役に立つおまじないは？」の2つのアニメーション活動を通して、様々な読書活動があることを理解し、味わってもらおう。また、保護者に対し「読書へのアニメーション」「指導法」について説明を行う。	小学1～3年 18人 保護者等 16人 (計34人)
2 B	8月18日(木)	Bチーム「記念日探検隊」 ～図書館で記念日探ししてみませんか～ ・本館利用者が、館内検索機(OPAC)の利用に慣れ親しむことによって、本館資料の更なる有効活用を図る。	親子4組 大人4人 子ども6人 (計10人)
3	9月9日(金) (2回)	Cチーム「ちょっとだけ図書館員」 ～図書館の仕事を体験してみませんか～ ・カウンター業務、ブックレー業務等の日常業務を体験することにより、図書館サービスへの興味と理解を深めてもらう。	一般 午前4人 午後4人 (計8人)
4	11月26日(土)	Dチーム「本と書評の考現学」～書評でたどる文学界今昔～ ・参加者が様々な本の書評を通して、世相や時代背景、歴史の流れなどについて考えたり、その時代を振り返ることによって、新たな読書活動への意欲を持つ。	一般 42人
5	12月7日(水) 12月8日(木)	Eチーム「パソコン・はじめの一步」 ～マウス・キーボード操作からインターネットまで～ ・パソコン操作の基礎からインターネットの検索までを通して、最終的にはWeb OPACを用い、図書館資料の検索ができるようにする。	一般 1日目 10人 2日目 11人 (計21人)
6	1月13日(金)	Fチーム「紙であそぼう！」 ～和綴じ本と立体カードをつくってみよう～ ・表装、和綴じなどの技法を用い実際に本を作成、修復して「本」そのものに対する意識を高める。	一般 12人

・図書館ツアー 5回実施、参加者延べ68人

回	日時	内 容	対象 参加人数
1	6月24日(金)	ちりめん本等の企画展を中心に案内	一般 14人
2	8月18日(木)	街頭紙芝居展の案内	親子 8組 大人 8人 子ども 12人 (計20人)
3	10月15日(土)	宮城県政ニュースのVTRを放映 (於青柳館)	一般 12人
4	12月7日(水)	文化財レプリカ(「仙台城下絵図」(於研修室)、「禽譜」・「魚蟲譜」)を中心とした案内	一般 12人
5	2月15日(水)	マイクロフィルム等を中心とした逐次刊行物の案内	一般 10人

・OPAC（館内検索機）講習会 5回実施 参加者延べ29人

回	日時	対象・参加人数	回	日時	対象・参加人数
1	6月24日(金)	一般 12人	4	11月18日(金)	一般 2人
2	7月15日(金)	一般 5人	5	1月20日(金)	一般 1人
3	9月16日(金)	一般 9人			

(2) 生涯学習関係事業

イ 子どもの本展示会

開催期間	会場	入場者数
平成17年4月21日(木)～5月1日(日)	ホール養賢堂	延べ 761人

ロ 音楽鑑賞講座&ミニコンサート

期日：平成16年7月16日（土）

講師：田村 輝頭 氏・鈴木 健治 氏・高橋 雅和氏（参加者：83人）

ハ 上映会・コンサート

期日：毎月第2，第4土曜日，日曜日（参加者：857）

二 生涯学習推進月間

・生涯学習サークル等作品展示会（場所：生涯学習室 特設展示ブース）

①ポーセラーツ作品展示 期日：平成17年10月5日（土）～10月15日（土）

富谷町 ポーセラーツ工房 Michipe 代表 大谷 妙子 氏

②ちぎり絵作品展示 期日：平成17年10月19日（水）～10月29日（土）

多賀城市 ちぎり絵サークル多賀城 代表 大井 静江 氏

※ちぎり絵体験会（10月26日（水）参加者11人）

・裁判官出前講座 期日：平成17年10月8日（土）

場所：ホール養賢堂 講師：裁判官 中丸 隆 氏

内容：「裁判員制度」について講演・質疑（参加者19人）

・生涯学習推進講演会 期日：平成17年10月16日（日）

場所：ホール養賢堂 講師：中央大学名誉教授 池田 正孝 氏

演題：「スライドで巡るヨーロッパの旅」～アンデルセン生誕200年によせて～（参加者40人）

・テーマ講演会「身近な危険から身を守る」

回	期日	場所	講師	内容	参加者
1	10/6(木)	ミニアター青柳館	県総務部 県政情報公開室職員	個人情報を守るために	18人
2	10/13(木)	ミニアター青柳館	県総務部 危機対策課職員	宮城県沖地震の再来への備え	16人
3	10/20(木)	ミニアター青柳館	県環境生活部 食と暮らしの安全推進課職員	みやぎの食の安全 安心確保を県民の手で	11人
4	10/27(木)	ホール養賢堂	高橋 久子 氏	ヨガとウォーキングでストレス撃退	45人

・秋の大おはなし会

期日：平成17年10月1日（土）

場所：ホール養賢堂

講師：ぱんだらのおはなし会（代表：栗石 昭子 氏），おはなしの森（代表：相澤 美和 氏），
早苗会（代表：半澤 和枝 氏）

内容：各サークル等が選んだ絵本，紙芝居（参加者約150人）

ホ エル・ネット「オープンカレッジ」

期日：平成16年5月～平成17年2月

内容：文部科学省の衛星通信による大学公開講座の放映（参加者：延べ169人）

へ 子ども放送局

期日：毎週土曜日（第5土曜日は除く）

内容：文部科学省の衛星通信による子ども向け番組の放映（参加者：延べ38人）

ト 読書推進講演会

期日：平成17年10月30日（日）

会場：仙台白百合学園レジナパーチスホール

講師：熊谷 達也 氏

演題：「小説家になること 小説家であること」（参加者：361人）

チ みやぎ県民大学

テーマ「きらめく叡智の杜を訪ねて～仙台藩貴重書の世界～」5回実施 受講者54人，延べ270人

回	期日	講師	内容
1	6月11日(木)	館長 伊達 宗弘	伊達文庫等にみる黎明の時代 －本館のあゆみと貴重書－
2	6月18日(土)	館長 伊達 宗弘	はじめて世界一周をした日本人 －『環海異聞』の世界－
3	6月25日(土)	資料奉仕部長 早坂 信子	日本ではじめて開放された図書館 －青柳文庫：その歴史と蔵書の行方－
4	7月2日(土)	主任主査 内馬場 みち子	いまに詠み継がれる叡智の結晶 －斎藤秀三郎と斎藤和英大辞典－
5	7月9日(土)	主任主査 佐々木 克敬	叡智の杜を巡る －貴重書(レプリカ)見学と図書館ツアー－

リ 館長講座

テーマ「みちのくの歴史と文化を訪ねて」6回実施 受講者延べ420人

講師：館長 伊達 宗弘

回	期日	内容	受講者
1	9月17日(木)	みちのくの歴史と文化の源流を訪ねて	88人
2	10月22日(土)	奥州藤原氏の興亡と東北の夜明け	72人
3	11月19日(土)	洛陽を模した仙台藩の国づくり	74人

回	期日	内容	受講者
4	12月17日(土)	ヨーロッパへ馳せた夢慶長遣欧使節団	60人
5	1月21日(土)	近代化の警鐘を鳴らした三先人(工藤平助, 林子平, 高野長英)	60人
6	2月25日(土)	明治天皇の東北巡幸	64人

ヌ 図書館ボランティア研修

- ・養成講座(本館ボランティア 平成17年度新規登録者(66人)を対象に実施)

① 一般講座

期日:平成17年5月12日(木)

内容:宮城県図書館の概要, ボランティアについて, 各活動担当者の紹介(参加者:56人)

- ② 専門講座(活動分野ごとに, ボランティア登録を行い, 専門講座を実施している。ただし, 複数の専門講座を受講できることとしている。)

- ・書架整理(全2回)〈平成17年度新規登録者 36人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月25日(水)	ラベル(請求記号)・配架について	38人
2	6月1日(水)	ラベル(請求記号)・配架について	33人

- ・視聴覚(全2回)〈平成17年度新規登録者 17人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月25日(水)	活動内容について・配架について	19人
2	6月1日(水)	活動内容について・配架について	16人

- ・読み聞かせ(全2回)〈平成17年度新規登録者 2人〉

回	期日	内容	参加者
1	6月17日(金)	読み聞かせの実演, 子どもの本について, おはなし会について	7人
2	6月24日(水)	読み聞かせの実演, 子どもの本について, おはなし会について	5人

- ・音訳(全6回)〈平成17年度新規登録者 10人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月27日(金)	障害者サービス・音訳・著作権について	13人
2	6月2日(木)	音訳の基礎1(音訳とは・日本語の基礎・呼吸法)	15人
3	6月10日(金)	音訳の基礎2(発声・発音・鼻濁音・無声化)	13人
4	6月17日(金)	音訳の基礎3(アクセント・読む基本)	13人
5	6月23日(木)	音訳の基礎4(文章を読む)	13人
6	6月30日(木)	現在活動しているボランティアからの活動説明	13人

- ・展示室案内（全7回）〈平成17年度新規登録者1人を含む26人を対象に実施〉

回	期日	内容	参加者
1	6月24日(金)	特別展「叡智に杜にきらめく先人たち」展示説明	12人
2	7月14日(木)	企画展「水木しげると街頭紙芝居」展示説明	19人
3	8月10日(水) 8月17日(水)	特別展「東北歌壇を支えた歌人 扇畑忠雄追悼展」展示説明	17人
4	10月14日(金) 10月19日(水)	特別展「叡智の杜をめぐる 魚蟲譜～江戸博物学の精華～」展示説明	18人
5	11月9日(水) 11月17日(木)	企画展「SFの父 ジュール・ヴェルヌ」展示説明	14人
6	1月13日(金) 1月18日(水)	企画展「図書館びっくり大賞～こんな本もあったのか!?!～」展示説明	15人
7	3月10日(金)	企画展「平間至展 ～現在を映す平間至写真の世界～」展示説明	10人

- ・全体研修会

本館ボランティア登録者129人(新規66人, 継続63人)を対象

期日:平成18年2月22日(水)

講演:「施設ボランティアの現在」 講師:水谷 修 氏 (東北学院大学教養学部教授)

(参加者:45人)

(3) 市町村図書館支援事業

- イ 公共図書館等初任者研修会

期日:平成17年5月11日(水)

講話「次代を牽引する図書館の使命」 講師:宮城県図書館長 伊達宗弘

講義「図書館サービスを考える視点」 講師:宮城県図書館 内馬場みち子

ワークショップ「これからの図書館における『情報』の発信」

講師:宮城県図書館 佐尾博基 (参加者:42人)

- ロ 公共図書館長研修会

期日:平成17年7月8日(金)

講演「大きくゆるやかな図書館協力組織とひとりの利用者」

講師:竹内哲氏(図書館情報大学名誉教授)

グループ討議「図書館経営の現状と課題」 (参加者:午前33名, 午後18人)

- ハ 公共図書館等職員研修会1

期日:平成17年9月15日(木)・16日(金)

講演「サービス計画と図書館評価」 講師:葉山敦美氏(座間市立図書館)

演習「図書館サービス計画の企画・立案」 (参加者:17人)

- ニ 公共図書館等職員研修会2

期日:平成18年1月19日(木)

講演・演習「図書館サービス計画のプランニングと評価」

講師:山崎博樹氏(秋田県立図書館) (参加者:22人)

ホ 読書活動研究集会

期日：平成17年12月16日（木）

内容：①「ブックトーク ～子どもが読書を楽しむために～」②「ブックトークの実際」

講演・指導：日本子どもの本研究会会員 山花 郁子 氏 （参加者：98人）

（4）図書館振興事業

イ 宮城県図書館振興講演会

期日：平成17年11月5日（土）

会場：山元町中央公民館

講師：本川 達雄 氏（東京工業大学大学院生命工学研究科教授）

演題：「ゾウの時間 ネズミの時間 私の時間」（参加者：65人）

9 広報活動並びに刊行物

(1) 広報活動

イ 広報誌

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』

第19号（平成17年7月），第20号（平成17年11月），第21号（平成18年3月）発行

- ・県教育広報「PLANET」（宮城県総務部広報課発行）

第45号（平成18年2月）に「見て・触れて「図書館資料」を使った授業」を掲載

ロ テレビ・ラジオ

施設の利用案内，主催事業等についてテレビ・ラジオ等のメディアを利用して随時広報

ハ インターネット

行事案内，新着資料案内等をホームページに掲載

(2) 刊行物

イ 平成17年度要覧

（企画協力班）

ロ 平成16年度年報

（企画協力班）

ハ 利用案内

（企画協力班）

ニ 第36回子どもの本展示会目録

（利用サービス班）

ホ 児童図書の新刊紹介「子どもの森・本のいずみ」NO. 80～91

（利用サービス班）

ヘ レファレンス事例集「としょかん質問箱」NO. 15, 16

（調査班）

ト 平成17年度宮城県図書館貴重資料専門調査報告書

（郷土資料担当）

チ 平成17年度県内読書施設（図書館・公民館）の現状

（企画協力班）

リ 紀要『叡智の杜』第3号

（企画協力班）

ヌ 『宮城県図書館協会だより』

（総務班）

月	日	行 事 等	備 考
7	9日 14日 15日 15日 20日 26日	宮城県民大学開放講座「きらめく叡智の杜を訪ねて」⑤ 第2回展示室案内ボランティア専門講座（展示室案内②） 宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議 OPAC講習会② ボランティア専門講座（展示室案内②補講） 『環海異聞』等6件35点 県指定有形文化財に指定 『北極出地度里程測量』3点『伊能図』5軸に追加指定	
8	6日 9日～10月6日 10日 17日 18日	図書館ツアー② 特別展「東北歌壇を支えた歌人 扇畑 忠雄追悼展」 ボランティア専門講座（展示室案内③） ボランティア専門講座（展示室案内③補講） 「プロジェクト22」Bチーム「記念日探検隊」	
9	1日 3日～11月3日 9日 15日～16日 15日～16日 16日 17日	第2回宮城県図書館協議会 企画展「文学にみるみやぎ 近代編」 「プロジェクト22」Cチーム「ちょっとだけ図書館員」 北日本図書館連盟サービス部門研修会 公共図書館等職員研修会1 OPAC講習会③ 館長講座「みちのくの歴史と文化を訪ねて」①	秋田市
10	1日 5日 6日 6日～7日 8日 8日～12月1日 12日～14日 13日 14日 15日 16日 19日 19日 19日 20日 22日 26日 26日 26日～27日 27日 30日	秋の大おはなし会 生涯学習サークル等作品展示会（ポーセラーツ） 生涯学習月間テーマ講演会「個人情報を守るために」 日本図書館協会公共図書館部会サービス部門研修会 裁判官出前講座 特別展「叡智の杜をめぐる 魚蟲譜」 東日本著作権講習会 生涯学習月間テーマ講演会「宮城県沖地震の再来への備え」 ボランティア専門講座（展示室案内④） 図書館ツアー③ 生涯学習推進講演会 「図書館年鑑」東北ブロック協力者会議 生涯学習サークル等作品展示会（ちぎり絵） ボランティア専門講座（展示室案内④補講） 生涯学習月間テーマ講演会「みやぎの食の安全安心確保を県民の手で」 館長講座「みちのくの歴史と文化を訪ねて」② 県市町村生涯学習主管課長・社会教育主事合同会議 ちぎり絵体験会 全国図書館大会 生涯学習月間テーマ講演会「ヨガとウォーキングでストレス撃退」 読書推進講演会	徳島県 青森市 県庁 茨城県立図書館 仙台白百合学園

月	行 事 等	備 考
11	5日 図書館振興講演会 5日～12月28日 企画展「SFの父ジュール・ヴェルヌ」 9日 ボランティア専門講座（展示室案内⑤） 10日～11日 全国公共図書館研究大会（総合・経営部門） 15日～18日 北日本地区図書館研修 17日 ボランティア専門講座（展示室案内⑤補講） 17日 書誌調整連絡会議 17日～18日 北日本図書館連盟総合・経営部門研修会 18日 OPAC講習会④ 18日 第2回防災訓練 19日 館長講座「みちのくの歴史と文化を訪ねて」③ 23日 地球出前講座 24日 公共図書館連絡会議2 26日 「プロジェクト22」Dチーム「本と書評の考現学」	山元町中央公民館 神戸市 青森県立図書館 国立国会図書館 山形県遊学館
12	1日 第3回宮城県図書館協議会 3日～1月25日 特別展「浮世絵(レプリカ)展」 7日 図書館ツアー④ 7日・8日「プロジェクト22」Eチーム「パソコン・はじめての一步」 16日 読書活動研究集会 17日 館長講座「みちのくの歴史と文化を訪ねて」④	
1	5日～3月2日 企画展「図書館びっくり大賞」 13日 「プロジェクト22」Fチーム「紙で遊ぼう！」 19日 公共図書館等職員研修会2 20日 OPAC講習会⑤ 16日～20日 禽譜・魚蟲譜レプリカ展示 21日 館長講座「みちのく歴史と文化を訪ねて」⑤ 26日～2月8日 特別整理期間	県庁
2	2日～3日 全国公立図書館部会第2回理事会 2日～3日 レファレンス研修 3日 派遣社会教育主事研修会 9日～4月2日 特別展「紙芝居展」 15日 図書館ツアー⑤ 22日 ボランティア全体研修会 23日 総合目録ネットワーク参加館フォーラム 24日 レファレンス参加館フォーラム 24日 北日本図書館連盟第2回理事会 24日 宮城県図書館協会第2回役員会 25日 館長講座「みちのくの歴史と文化を訪ねて」⑥	千葉市 国立国会図書館関西館 婦人会館 国立国会図書館関西館 国立国会図書館関西館 岩手県立図書館
3	1日 人形劇研修会 4日～5月7日 企画展「平間至展」 13日～14日 県庁移動展示会「きらめく叡智と美のしずく」 16日 日本図書館協会評議員会 31日 紙芝居資料5,652点 国登録有形文化財に登録	県庁 日本図書館協会

年 報 平成17年度

平成18年5月1日発行

宮 城 県 図 書 館

〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山一丁目1番地1

電 話 022-377-8441 (代表)

F A X 022-377-8484

<http://www.pref.miyagi.jp/library/>

本文用紙は古紙配合率100%、白色度70%再生紙を使用しています。

この「年報 平成17年度」は600部作成し、1部当たりの印刷単価は 円(税別)です。